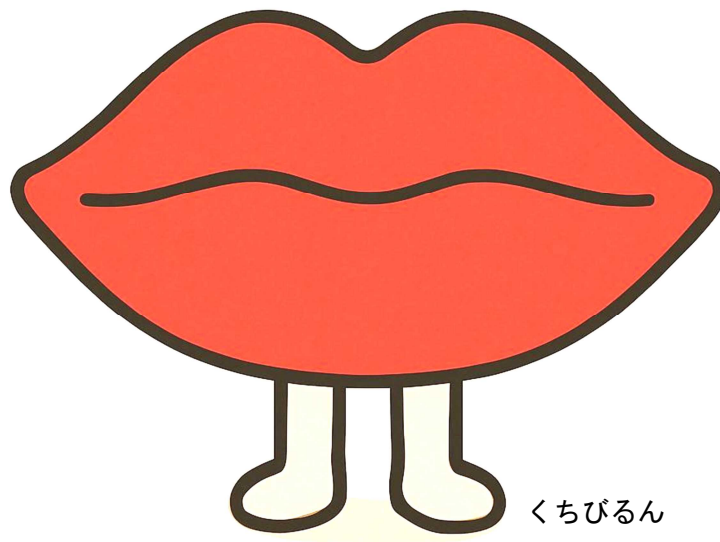


令和8年度利用**学校**団体向け

5分で分かる！

先生のための利用ガイド

利用当日までの流れをギュッと凝縮！
ミスを防ぐ、重要ポイントをまとめたよ！

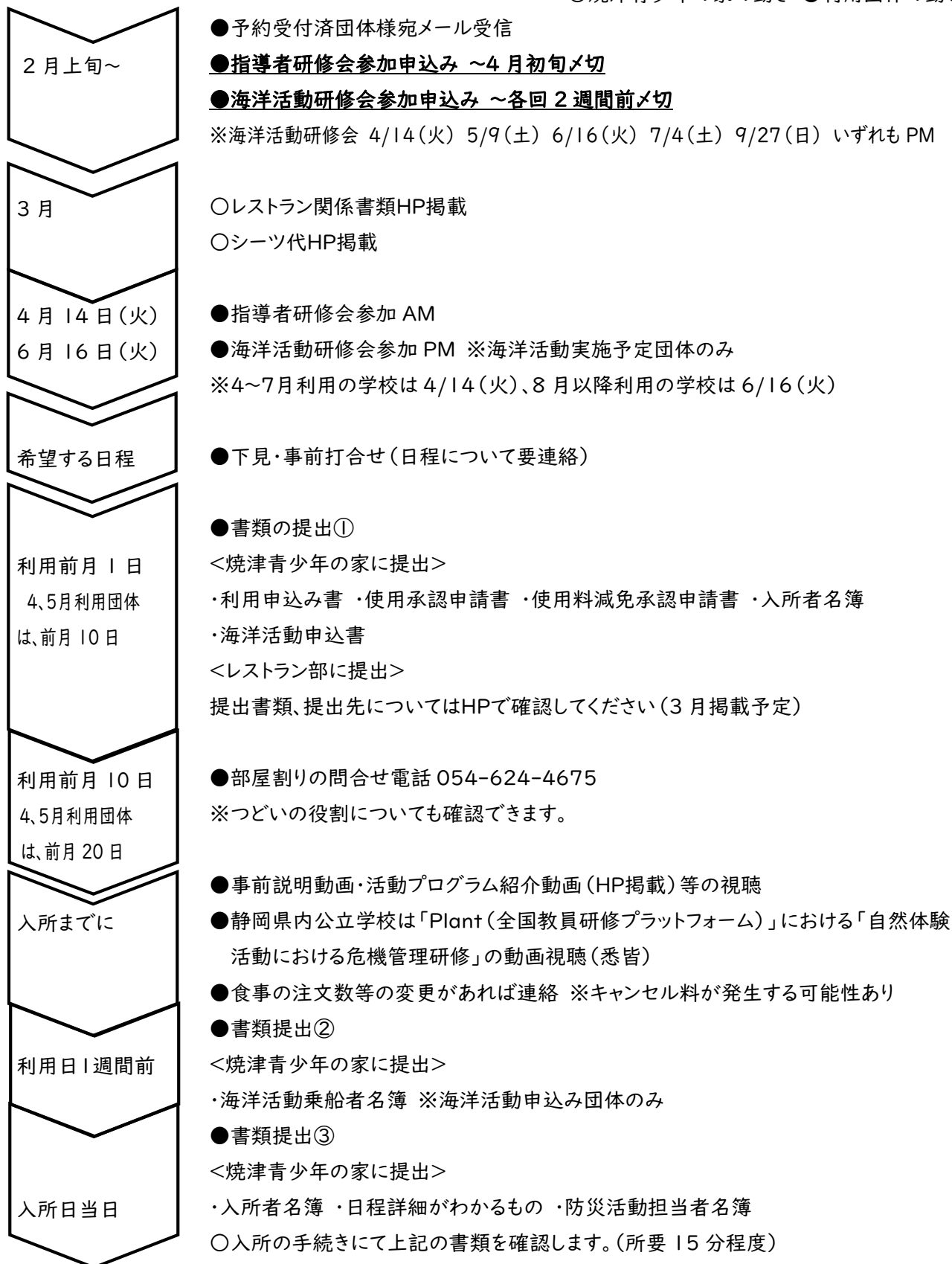


くちびるん

※詳しくは、焼津青少年の家ホームページ <https://yaisei.jp/> から「利用の手引き」
や事前説明動画を参照してください。

Ⅰ 当日までの流れを把握しよう。

○焼津青少年の家の動き ●利用団体の動き



各種様式はHPより必ず最新のをダウンロードして御使用ください。

2 焼津青少年の家での活動のねらいと内容を検討しよう。

(1)「昨年度と同じでいいか」と考える前に

焼津青少年の家を利用する日は、学年計画のどのような位置づけにあたるのかを確認して、児童・生徒たちには「焼津青少年の家でどのような力を付けたいか」、「利用日までにどのような姿になっていければいいか」、「利用後にどうなっていてほしいか」ということを考えて、利用のねらいを設定してください。

(2) ゆとりのある利用計画

活動する児童・生徒の目線で、活動や生活の時間にゆとりをもった計画を立てることをお勧めします。せっかく青少年の家に来たのだからと、あれもこれもと詰め込んでしまうと、結局、時間ばかりが気になって、何が目的だったのかわからなくなってしまうこともあります。

本来の目的は「たくさん体験させること」ではなく、「体験を通して児童・生徒が成長すること」です。そのためには、活動後の振り返りの時間も必要です。児童・生徒にも先生方にも、心と体にゆとりが生まれる構成を意識しましょう。

(3) 安全は全てに優先する

焼津青少年の家は「安全は全てに優先する」をモットーとしています。全ての屋外活動には、当日の気象状況等をもとに「実施判断」を行います。児童・生徒の安全や体調を最優先して、柔軟に活動の変更もできるように、活動の代替案を計画しておきましょう。

例えば、晴れていても強風のために海洋活動が実施できないというケースもあります。

(4) 指導の見通しをもつ

予定していた活動から代替案に変更した時に、「こっちはやらないと思っていた・・・」と慌ててしまうことがあります。そうすると、児童・生徒を前にしてねらいをもった指導ができず、ただ時間を埋めるだけの作業になってしまいます。

事前にHPから活動プログラム紹介動画を視聴し、活動のイメージをもてるようにしましょう。

静岡県立焼津青少年の家

お電話でのお問い合わせ 054-624-4675 (8:30~17:00 休日はお休み)

焼津青少年の家について About Yatsuzaki youth & children's center

利用案内 Use guide

プログラム Program

イベント案内 Event guide

交通アクセス Traffic access

活動プログラム集 (PDF) ←こちらをクリック

↓各プログラム名をクリックすると紹介動画や説明が見られます。

<屋外プログラム>

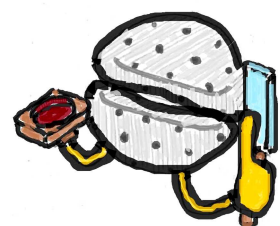
プログラム名	概要
海洋活動 (カヌー漕艇)	小川港や焼津港でカヌー (8人乗り) 漕艇を行います。
サイクリング	石津浜の防波堤上を、富士山や駿河湾を眺めながら走行します。
大漁ハイク	ガイドポイント (木札) にある魚の名前を見つけるゲームです。
ウォークラリー	コマ回しをたよりに、指定されたコースを歩くゲームです。
宝探し (焼青ドンツ)	決められたエリアの中に点する宝 (ポイント) を探すゲームです。
チャレンジラリー1~10	グループで協力して課題を解決するユニシアティブゲームです。
チャレンジラリー11~20	
チャレンジラリー21~26	
海釣り	小川港内で行います。

屋外活動を指導する方へ必ずお読みください

<屋内プログラム>

プログラム名	概要
黒はんぺん	すり身を味付け、成型し茹で、焼津名産の黒はんぺんを作ります。
七宝焼	キーホルダーやブローチなどの焼き物を作ります。

YouTube 動画で視聴できます。
子どもたちと一緒に予習するのもおすすめです。

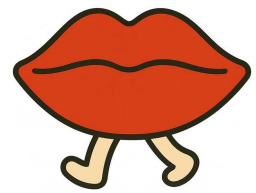


3 事前指導をしよう。

(1) 体験学習の目的を共有

- ・焼津青少年の家での活動で何を学ぶのか
- ・個人として、集団としてどんな成長をしたいのか

集団宿泊体験は、児童・生徒の「自立の基礎」を養うための「他に替わりのない教育活動」になります。普段と異なる生活の場で、仲間と寝食を共にする時間を過ごすことで、自立の意識の芽生えが期待できます。また、自分たちで計画した活動をやり遂げたという経験が、自己肯定感を高めることにつながります。



(2) 生活のルール・マナーの確認

- ・2つの合い言葉「自分のことは自分で」「来たときよりも美しく」
- ・食事、入浴、消灯、起床等の時刻
- ・レストランの利用の仕方
- ・シーツ類や布団の使い方、片付け方
- ・入浴の仕方
- ・退所点検の受け方

※「利用の手引き」の中に、しおりに使っていただけるページがあります。

(3) 活動の説明

- ・活動プログラム紹介動画（HP）の視聴
- ・マップの見方
- ・安全上の諸注意（緊急時の避難場所や体調不良時の連絡方法等）

※焼津青少年の家 Instagram にも利用の様子を紹介したショート動画があります。

(4) 持ち物の確認

- ・服装（帽子、時計等）
- ・雨具（上下分かれる物）
- ・水分
- ・常備薬
- ・宿泊に必要な物（タオル、洗面用具等）
- ・不要物の説明

(5) 役割分担

- ・班長、部屋長、食事係等
- ・つどいの役割（旗の係、スピーチ等）

4 先生あるあるミス5選

(1) 時間にゆとりがない

移動時間や身支度の時間を十分に見積もらず、活動時間が十分に取れない……。そうになると、焦りから児童・生徒を叱ってしまいがちに。

例えば、海洋活動は身支度やトイレを済ませ、乗船者カードを配付した後、徒歩で艇庫まで移動する時間が必要となります。また、食事の時間は決まっていますので、始まりが遅れたからと言って終わりを伸ばすこともできません。

(2) 引率教員間での情報共有不足

「今回の体験学習の担当だから」と1人で活動の指示や指導を担うと、他の引率教員は活動の内容を把握していない……。なんてことも起こります。

例えば、海洋活動研修会に参加していない教員が、艇庫までの移動で先頭になると安全なスロープではなく急な階段を下りていくといった危険な場面も生じます。教員間で分担をしつつ、必要な情報は必ず共有する時間をとってください。

(3) 活動プログラムは所員さんにおまかせ

「代替案の創作活動ロープストラップを行うことになったけど、作り方が分からないから所員さんから子どもたちへの説明をお願いします……。」

海洋活動や黒はんぺん作り等、所員による直接指導の活動プログラムはありますが、その他のほとんどの活動は引率される先生方が指導役となるプログラムです。活動直前に所員から先生方への説明はありますが、事前に活動プログラム紹介動画の視聴をしておくで安心です。

(4) 緊急連絡の通信手段がない

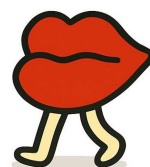
体調不良となった児童・生徒の保護者に連絡をとりたいので、所の電話を貸してください……。原則、所の電話を貸し出すことはできません。学校と連絡を取り合って対応していただくか、団体側で携帯電話の用意をお願いします。

(5) 会計のことが不安

当日、体調不良で急遽不参加となった児童・生徒が、使用料減免対象であるかどうか分からず、会計カードに間違えて記入してしまった……。教員分と児童・生徒分を分けた会計書類がほしいと事務職員から言われた……。といった連絡を利用後に受けることがしばしばあります。

事前に校内で会計について事務職員とも相談をしてきてください。

HP掲載の「よくある質問コーナーQ & A」も参考にしてください。



5 所員も教員!

焼津青少年の家の所員は県内公立学校の教員です。分からないことや心配なことがあれば、遠慮なく焼津青少年の家まで御連絡ください。

静岡県立焼津青少年の家

TEL : 054-624-4675

E-mail : YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp